

## 矢祭子ども司書を目指すきみたちへ

みなさん、よくぞ子ども司書講座を受講する決心をしましたね。

小学校の四年生以上になると、授業の内容がだんだん難しくなってくるなど、勉強するだけでも忙しくなりますね。そんななかで子ども司書講座を受講することには、教科の学習とは違う、特別の意味のある学びになると思います。

子ども司書の講座では、まず図書館についていろいろなことを学びますね。本がどのように分類されて並べられているかとか、小学生にはまだ難しい専門書が様々な分野別にいかにかたくさんあるかとか、貸し出しの仕事や傷んだ本を修復する仕事はどのようになるかといったことを、図書館の現場で学ぶのです。読書活動を広めるイベントの手伝いも学ぶと思います。

田んぼや川辺に出向いて、俳句を作る楽しい野外学習の時間もあります。図書館のなかの学びだけでなく、野山に出て、四季折々の植物や花の変化を俳句で詠むと、自分が暮らしている故郷の豊かさを発見するでしょう。

こうした子ども司書講座ならではの学びは、本の世界の広さと深さに気づき、本に対する愛着心を強く持つことにつながり、郷土愛を深めることにもなると思います。はじめに「特別の意味のある学習」と言ったのは、そういうことなのです。

小学生時代に、そういう経験をすることは、中学生や高校生になってからの学びにつながるすばらしい歩みです。

さあ、これから始まる講座に胸をふくらませて臨んでください。

令和三年五月二十二日

ノンフィクション作家 柳田 邦男

やなぎだ

くにお